

コード	2101	事業名	工業用水道事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道施設課 公設民営・水運用担当
-----	------	-----	---------	------	---------	----	------------------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	公設民営化など浄水場の管理運営形態の抜本的見直し		行動目標	柿木浄水場の管理運営形態を抜本的に変革する。			
	14	15	16	17	18		
(行動計画) 柿木浄水場の管理運営については、水処理及び排水処理に関する運 転管理業務を一括委託化するとともに、業務委託の範囲を拡大しなが ら平成17年3月には浄水場全体を民間が運営する公設民営化を図る。	<p>&lt;柿木浄水場&gt;</p> <p>運転管理業務委託 一括化の検討</p> <p>公設民営化の検討 ・公設民営化の最適 形態の検討、決定 ・課題点の抽出と対 応方針策定</p> <p>・決定形態に対応す る民営化業務内容 確定</p>	<p>運転管理業務委託 一括化の実施</p> <p>・業務運営マニユア ル 策定</p> <p>・漏水等緊急時対応 マニユアル策定 ・各種施設の台帳等 の整備</p> <p>公設民営化の管理 体制の検討</p>	<p>公設民営化の実施に向けた総 合的な準備</p>	<p>公設民営化を実施</p>			
改革指標・目標数値		改 革 効 果					
運転管理業務委託一括化・ 委託内容見直しによる委託費 H15～16 10%削減	目標	H15～16年度	16百万円以上	H15～16	16百万円		
	実績	H14年度末	-				
		H15年度末	31百万円				
		H16年度末	-				
		H17年度末	-				
公設民営化による 管理運営経費 /m <sup>3</sup> H17 15%削減 (H13:11.98円/m <sup>3</sup> H17:10.18円/m <sup>3</sup> ) 薬品、動力費を除く。	目標	H17～18年度	148百万円以上	148百万円	(74百万円/年)		
	実績	H14年度末	-				
		H15年度末	-				
		H16年度末	-				
		H17年度末	-				
		H18年度末	-				

コード	2102	事業名	工業用水道事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道施設課 施設担当 水道計画課 施設計画・高度処理担当 水道建設課
-----	------	-----	---------	------	---------	----	--

現 計 画 (平成15年3月修正)

改革事項	経営状況に見合った施設の更新と改良	行動計画		各事業の緊急性と必要性の度合いに応じた事業進度の調整を図るとともに、事業実施に当たっては一層のコスト縮減に努める。				
		14	15	16	17	18		
1 上工水共用施設に係る管理負担金を見直すとともに、排水処理施設の更新について、PFIによる事業化を検討する。 2 柿木浄水場の高速沈でん池施設更新2期工事について、本計画期間中は実施しない。 3 経済的かつ効果的な投資と費用の平準化に配慮し、「第5次業務設備整備計画」を策定する。 4 「公共工事コスト縮減対策に関する埼玉県新行動計画」に基づき設備整備費のコスト縮減を一層促進する。	上工水共用施設に係る管理負担金(アロケ)の見直し検討(見直し事項及びアロケ手法の抽出、検討)	管理負担金(アロケ見直し決定・実施)						
	第5次業務設備整備計画策定検討	第5次業務設備整備計画策定	第5次業務設備整備計画実施					
	設備改良工事のコスト縮減							
改革指標・目標数値		改 革 効 果						
工水管理負担割合 1%以上削減	目標	H15~18年度	56百万円	H15~18	56百万円			
	実績	H14年度末	-					
		H15年度末	10百万円					
		H16年度末						
		H17年度末						
設備整備費のコスト縮減率(計画金額比) 5%	目標	H14~18年度	754百万円	H14~18	754百万円			
	実績	H14年度末	18百万円					
		H15年度末	253百万円					
		H16年度末						
		H17年度末						
	H18年度末							

コード	2103	事業名	工業用水道事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道計画課 PFI推進担当
-----	------	-----	---------	------	---------	----	---------------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	PFI手法による施設の建設・改良		行動目標	PFI手法の導入を可能な限り推進する。		
(行動計画)	14	15	16	17	18	
	<p>1 大久保浄水場排水処理施設更新事業について、平成14年にPFI手法を導入するか選択する。</p> <p>2 PFI手法の導入を選択した場合は、平成15年度にPFI事業者を募集し、平成16年度から事業を実施する。</p>		<p>PFI導入検討、可否決定 (事業範囲特定、VFM確認)</p>	<p>&lt;導入可の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方針案作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方針策定及び公表</li> <li>・特定事業の評価・選定・公表</li> <li>・民間事業者の募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の選定</li> <li>・契約交渉</li> <li>・協定等の締結</li> </ul>

改革指標・目標数値		改 革 効 果				
可能な限り高いVFM 12%	目標	H16～年度	約50億円	建設コスト及び管理運営費の縮減(平成16年度～39年度) 費用の平準化		
	実績	H14年度末	-			
		H15年度末	-			
		H16年度末				
		H17年度末				
	H18年度末					

コード	2201	事業名	工業用水道事業	重点目標	事業の抜本的な見直し	担当	水道計画課 水道業務課	PFI推進担当 経営担当
-----	------	-----	---------	------	------------	----	----------------	-----------------

新規計画 (平成17年3月策定)

改革事項	将来の運営方策等の検討			行動目標	受水企業の減少傾向を踏まえた、中長期的事業運営の方向性と改善方策を明らかにする。			
(行動計画)	14	15	16	17	18			
工業用水道事業の経営状況の現況を分析し、今後の事業運営方針等の検討を行う。			事業の経営状況の現状分析 課題の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営改善検討委員会の設置・開催</li> <li>事業運営の目標設定</li> <li>運営方針の検討・決定</li> </ul>	改善方策実施の進行管理 →			
改革指標・目標数値	改 革 効 果							
運営の方向性と改善方策の明確化 (平成17年度方針決定)	目標	H ~ 年度	-	運営方針の明確化 事業運営リスクの軽減				
	実績	H 14 年度末	-					
		H 15 年度末	-					
		H 16 年度末						
		H 17 年度末						
		H 18 年度末						